

遊歩一景

平成台配水池 (旭丘学区)



丘陵の
頂きに建つ
配水池
蛇口の水は
遠路はるばる

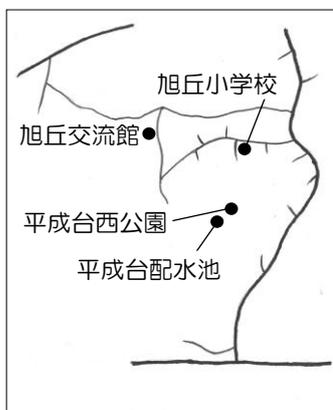
旭丘小学校付近の坂を上りつめると平成台西公園があります。ここは引野丘陵北側斜面の頂上付近で、昔は瀬戸内海に突き出た半島でした。

近くに6世紀後半のものと思われる大谷古墳があり、古代人も備後灘の向こうに四国山地を望む穏やかな瀬戸内の景色を楽しんだことでしょう。

公園そばの高台に、巨大な円筒形の建物が見えます。これは、福山市上下水道局が管理する「平成台配水池(はいすいち)」という施設です。中津原浄水場で作られた水道水が、大門町の大津野ポンプ場から送られているそうです。

平成台配水池は1994年(平成6年)年に建造、引野町や大門町などの約2300戸に配水しているそうです。建設以前は、千田配水池から配水されていたそうです。

蛇口をひねればいつでも出てくる水道水。遠路はるばる運ばれていると考えると、改めてありがたく思います。



他の写真・
資料 ⇒



東部いれこみ情報 学習情報 No.265

2023年(令和5年)10月1日 10月号

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カーは 福山市東部地域振興課

ホームページで 検索・QRコード



YouTube・トーチューブ

福島の花マワリを育てて考えたこと

東朋中学校では、福島県で採取したヒマワリの種をゆすり受け、校庭で栽培しました。花を育てながら、自然災害や被災された人のことなどについて考える機会になったそうです。



そこで、夏の時期に東朋中学校を訪ね、咲きほこるヒマワリを撮影しました。

●配信 **10月6日(金)** 9時～

●動画サイト YouTube

●チャンネル TouTube.F

●問合せ先 東部地域振興課

電話：084-940-2574

FAX：084-947-5658

メール：↓↓↓

toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



桜坂キャラバン 企画展

「福島の花マワリを育てて考えたこと」

●期間 **10月6日(金)**
～ **10月31日(火)**

●場所 **東部市民センター**
2階 ロビー

主催・問合せ先 東部地域振興課

電話 084-940-2574

FAX 084-947-5658

日吉台学区自主防災協議会研修会
～平成30年7月豪雨（西日本豪雨）の被災体験から学ぶ～

9月9日（土）に日吉台交流館において、矢掛町中川公民館の元館長 高月憲二郎さんを講師にお迎えし、日吉台学区自主防災協議会研修会を開催しました。

矢掛町の中川地区は西日本豪雨で小田川が決壊し、大規模な浸水被害を受けており、高月さんは、被災体験をはじめ、地域ぐるみで災害に備えるための防災教室や避難訓練などの取組を紹介されました。また、自分の命は自分で守る「自助」と地域の人と協力しあう「共助」ができるように災害を想定した避難訓練を定期的に行なっていってほしいと呼びかけました。

講演会の最後に「西日本豪雨を忘れないでほしい。災害はこれからも起こりうると考えて、訓練を行っていけば、地域の結びつきも強くなる」と話していました。

研修に引き続き、東部地域振興課による「LINE オープンチャット」の出前講座を行い、参加した自主防災協議会の役員が緊急時の連絡、情報共有の方法等について確認を行いました。

日吉台学区自主防災協議会会長の坂本 始さんは「西日本豪雨から5年が経ち、住民の意識が薄れている。11月の総合防災訓練では「LINE オープンチャット」等を活用した実践的な訓練を行い、防災への取組を強化するとともに防災意識を高めたい」と話していました。



野々浜学区放課後子ども教室の活動を紹介します！

野々浜小学校を活動場所として、箏教室と囲碁・将棋教室を月2回、絵本の読み聞かせを年に3回程度開催しています。

6月28日は、箏教室の日でした。階段を上がるにつれて、きれいな箏の音色が聞こえてきました。

教室に入ると、児童が文化祭で発表する曲目を練習しており、協働活動サポーターの方が、「ここを押さえて！」「三拍よ～」と指導をされていました。



練習中、上級生が下級生に弾けない部分を教えている姿が見られ、違う学年との交流がうかがえました。

児童も協働活動サポーターの方もリズムに気を付けながら、真剣に取り組んでいました。今年度は10月の文化祭と3月の小学校での発表会を予定しており、発表会に向けて一生懸命練習をしている姿が印象的でした。

東部管内イベント・講座情報

緑丘交流館

あかちゃんといっしょの おはなし会

【日時】10月12日(木)
10時～10時40分

【講師】東部図書館司書

【対象】0～3歳児と保護者

【定員】8組

失敗のない キレイな写真の撮り方

【日時】10月24日(火)
13時30分～15時

【講師】阿部信夫さん
(緑丘フォトクラブ指導者)

【定員】20人

【会場・申し込み・問い合わせ先】

緑丘交流館 084-943-5495

伊勢丘交流館

ヒンメリの星型サンキャッチャーづくり

【日時】10月13日(金)
9時45分～11時30分

【講師】篠村由樹さん(手芸作家)

【定員】16人 【材料費】400円

脱！コロナ生活「じぶんケア」④ 介護保険のしくみと施設サービスのいろいろ

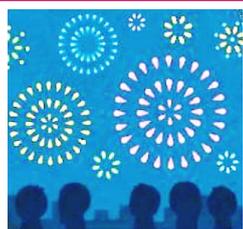
【日時】10月25日(水)
10時～11時30分

【講師】森原徹さん
(老人保健施設ハイトピア・カイセイ)
千葉洋三さん
(日本基準寝具(株)ECOL)

【定員】20人

【会場・申し込み・問い合わせ先】

伊勢丘交流館 084-947-0511



旭丘学区自治会連合会(旧連合町内会) 創立50周年記念行事 第43回旭丘学区ふれあい文化祭



『創立50周年記念行事』

◆前夜祭 10月21日(土) 19時30分～約5分間

★『創立50周年記念打ち上げ花火』

旭丘小学校グラウンド(旭丘小学校敷地内は立入禁止)

◆当日行事 10月22日(日)

★『旭丘小学校児童による琴演奏』9時30分～

★『創立50周年記念式典』10時00分～

★『子ども神楽演舞』13時00分～

『旭丘学区ふれあい文化祭』

◆10月22日(日)

9時00分～16時00分

旭丘小学校体育館・中庭(雨天決行)

【問い合わせ先】

旭丘交流館 084-943-9787

春日コミュニティ館

「大切なわたし」を思い出す ～自分をいたわり 愛するための 七つの方法～

【日時】11月11日(土) 14時～16時

【講師】浮田明子さん

(「ここから/いまここ」代表)

【定員】15人

【会場・申し込み・問い合わせ先】

春日コミュニティ館 084-943-2531

東部図書館からのお知らせ

展示「千年の恋～光と影の源氏物語～」

【期間】10月18日(水)～11月20日(月)

【場所】東部図書館 1階フロアー

朗読会「光る君 ―はじめての源氏物語―」

【日時】10月31日(火) 13時30分～15時

【場所】東部図書館 2階集会室

【申し込み】10月14日(土) 10時から電話
または来館にて

【申し込み・問い合わせ先】

東部図書館 084-940-2575

音の出る信号機が設置されました

昨年度、音の出る信号機が東部市民センターそばにある伊勢丘六丁目の交差点に設置されました。これは RCC ラジオが取り組んでいる、目の不自由な人の外出を支援するチャリティーイベント「ミュージックソン」の収益金によるもので、県内で39か所目の設置だそうです。

障がいは社会の方にある

神戸で車いすを利用している人に「坂が多い街は不便ではないですか？」と聞いたことがあります。すると「阪神淡路大震災の後、誰もが外出することを前提に新しい街が作られたので快適に過ごせている」と言われました。

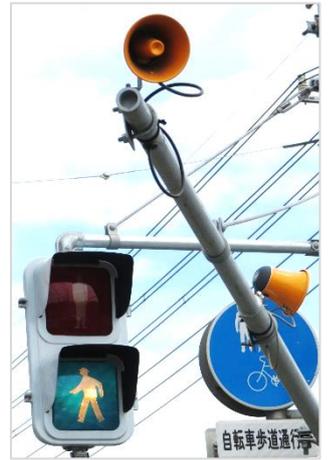
私たちの暮らす社会は、長い間障がいがない人を前提にまちが作られてきました。そのため、障がいがある人が不便を感じる構造が多くありました。つまり、不便な「障がい」は社会

の方にあつたのです。

全ての人の外出をあたりまえに

音の出る信号機の他にも、段差のない歩道や点字ブロックなどが増えています。

全ての人の外出をあたりまえにするために「社会の常識」の変化が進んでいます。



伊勢丘六丁目の交差点に設置された音の出る信号機

「人権・多様性社会」を考える機会に

「東部いれこみ情報」では、「人権・多様性社会」について特集記事を連載します。考え合う機会としてお読みいただけましたら幸いです。

地域のデジタル化

新しい会議のカタチ

今年度、緑丘学区・長浜学区・旭丘学区では、人権推進協議会やまちづくり推進委員会の会議を開催するにあたり、交流館の各部屋をデジタル機器で結んだ分散会議を開催しました。

参加者からは「密が避けられ、安心して参加できた」「夜間の会議は参加が難しかったが、今回リモートで自宅から参加することができて良かった」という意見や、「このようなデジタルを活用したやり方もこれからは必要」などの意見も寄せられました。

東部地域振興課では、デジタルを活用したまちづくりの支援を行っています。会議の分散開催だけでなく、部分リモート会議や SNS を使った情報発信等の相談も応じます。ぜひお声かけください！



旭丘交流館の分散会議

(写真左がメイン会場、写真右が分散会場)



SDGs をご存知ですか。「持続可能な開発目標」の英単語の頭文字を取ったものです。これは2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された17のゴールと169のターゲットから構成された国際目標です。人権、経済・社会、環境問題など、多岐にわたる課題が分類されています。

実際に私がこの単語を初めて聞いたのは、確か4年前だったと記憶しています。初めは読み方さえわからず、目にすることもほとんどありませんでした。その後、企業を中心とした取組が広がり、さまざまな場面でカラフルなマークを見かけるようになりました。

ではなぜ今このような目標が必要なのでしょう。それは貧困・紛争・気候変動・感染症など、これまでなかったような数多くの課題に世界中の人が直面しているからです。

東部支所の階段にこの目標を貼っています。一段一段上るたびに「地球上の誰一人取り残さない」「すべての人々の人権を実現する」という人権尊重を基本にしたこの目標を確認し、自分の日常生活の中で何ができるのかを考えていきたいと思えます。

桜のさくらやき

